

2018年6月5日

ZAPPALLAS

株主各位

会社名 株式会社ザッパラス
代表者名 代表取締役会長兼社長 川嶋 真理
(コード番号 3770 東証第一部)
問合せ先 取締役 小林 真人
TEL 03-5656-2758 (代表)

**前期実績値との差異、繰延税金資産の取崩しおよび繰延税金負債の計上
並びに配当（無配）に関するお知らせ**

当社は、平成30年4月期（自平成29年5月1日至平成30年4月30日）の業績（連結・個別）につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、平成30年4月期において、繰延税金資産の取崩しおよび繰延税金負債を計上すること、並びに平成30年4月期の配当について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成30年4月期通期業績と前期実績との差異

(1) 当期実績（連結）と前期実績との差異

	売上高	営業損益	経常損益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
平成29年4月期	4,846	294	298	134	10.59
(参考) 平成30年 4月期業績予想※	4,800	△650	-	-	-
当期実績 (B)					
平成30年4月期	4,408	△695	△700	△863	△67.83
増減額 (B-A)	△438	△989	△998	△997	△78.42
増減率 (%)	△9.0%	-	-	-	-

※平成30年4月期業績予想は2017年9月12日に開示しております。

(2) 当期実績（単体）と前期実績との差異

	売上高	営業損益	経常損益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
平成 29 年 4 月期	4,070	282	299	136	10.75
当期実績 (B)					
平成 30 年 4 月期	3,538	△759	△741	△894	△70.27
増減額 (B-A)	△531	△1,042	△1,040	△1,031	△81.02
増減率 (%)	△13.1%	-	-	-	-

(3) 差異が生じた理由（連結及び個別）

売上高につきましては、海外事業や一部占いコンテンツサービスにおいて増加いたしました。また、キャリア公式モバイルコンテンツの売上が減少したことに加え、前連結会計年度に受託開発業務を取りやめたことにより差異が生じることとなりました。

利益面では、不採算事業の取りやめによる損失の減少があったものの、売上高の減少や新規事業への投資による広告宣伝費が大きく増加したことで、営業損失、経常損失となっております。当期純利益につきましては、移転損失引当金繰入額の減少、繰延税金資産取崩しおよび繰延税金負債計上が影響しております。

2. 繰延税金資産の取崩しおよび繰延税金負債の計上について

今期の業績等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、当連結会計年度において繰延税金資産の取崩しおよび繰延税金負債の計上を行い、法人税等調整額(損)を151百万円計上いたしました。

3. 利益剰余金の配当（無配）について

当社は、平成 30 年 6 月 5 日に行われました当社取締役会において、平成 30 年 4 月期の配当について、次の通り無配とすることを決議いたしました。

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (平成 29 年 4 月期)
基準日	平成 30 年 4 月 30 日	平成 30 年 4 月 30 日	平成 29 年 4 月 30 日
1株あたり配当金	0円0銭	未定	5円0銭
配当金総額	0円	未定	63,662千円
効力発生日	-	-	平成 29 年 7 月 27 日
配当原資	-	-	利益剰余金

(2) 理由

現在、当社は主力の占いサービスに向けて集中的に経営資源を投下しており、将来にわたって持続的に競争力を確保するための仕組み作りが経営の最優先課題となっております。

株主に対する利益還元と、事業構造変革のために必要な内部留保とのバランスを保つことが重要であると考えている中で、足元の業績や事業投資の進捗度合等を総合的に勘案した結果、当事業年度の配当につきましては無配とさせていただくことを決定いたしました。

当社としましては引き続き企業価値の向上に努めることにより、株主の皆様に対するより多くの還元を目指しております。何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

以 上